

第六五回大磯西行祭献詠俳句（選者の部）

ときのけの日々の中なる円位の忌

本井 英先生

円位忌の海の鼓動に立ち尽す

今村 妙子先生

円位忌の闇に聞えて波の音

山田 真砂年先生

西行忌東へ白く丸き雲

松尾 隆信先生

乗り捨てのままの一舟西行忌

西山 睦先生

第六五回大磯西行祭献詠短歌（選者の部）

岩の根に咲きて木の根に咲く花のすみれをたどる春の山道

柳 宣宏先生

玄関に忘れて来たるハンカチの白さに新宿高層ビルは

今井 恵子先生

くらやみに別るる空のやや早くなりきてほのかとほき朝焼け

花山 多佳子先生